

うなぎプラネット



eel planet
NIHON UNIVERSITY

平成27年12月19日 9:00 ~ 17:30

日本大学生物資源科学部 大講堂 (本館4階)

協賛: 東アジア鯉資源協議会 (EASEC)・新江ノ島水族館・すみだ水族館

江戸中期に始まったウナギのかば焼きは、日本の代表的な食文化のひとつになりました。またウナギは、伝説や信仰の世界に登場し、浮世絵、工芸、芸能のモチーフともなっています。しかし近年ウナギ資源は世界的に減少し、絶滅危惧種に指定されたものもあります。早急に保全の手を打たねば、子々孫々に亘ってウナギを楽しむことはできなくなってしまうかもしれません。日本人がこよなく愛してやまないウナギという生き物を、様々な側面から総合的に理解し、末永くうなぎとその環境、文化をこの地球上に残しましょう。そしてそのために、今私達に何ができるか、みんなで考えてみましょう。

ご挨拶 9:00~

基調講演

- 9:05~ 安田陽一 ウナギのための河川環境づくり
- 9:25~ 韓 玉山 川のウナギ資源の簡易評価
- 9:45~ 望岡典隆 産学官連携のウナギ保全活動
- 10:05~ 木村伸吾 ウナギ資源は海流まかせ
- 10:25~ 井上 潤 ウナギの起源と進化

10:45~ 休憩

招待講演

- 11:00~ 竹下広宣 どこ誰がうなぎを食べ続けるか?
- 11:15~ 吉永龍起 熱帯ウナギの接岸生態と保全
- 11:30~ 篠田 章 鯉川計画: シラス接岸モニタリング
- 11:45~ 海部建三 ウナギは本当に絶滅するのか?

12:00~ 昼食・ポスターセッション

- 13:00~ 横内一樹 ウナギ回遊生態の可塑性
- 13:15~ 板倉 光 河川生活期の生態と環境改変
- 13:30~ 須藤竜介 ウナギの変態メカニズム
- 13:45~ 原 一平 うなぎ・らくご・あれこれ

14:00~ 休憩

研究講演

- 14:15~ 山本質素・高崎竜太郎 “国産”うなぎ なぜ珍重?
- 14:27~ 相原 修 記念日マーケティングの行方
- 14:39~ 陳 文学 中国のウナギ養殖と消費実態
- 14:51~ 蜂巢浩生 実験動物としてのウナギ
- 15:03~ 小田 晃・武村 武 蛇かごを使った「ウナギの巣」

15:15~ 休憩

- 15:25~ 榎島 誠・梅田香織・石澤通康 ウナギのビタミン学
- 15:37~ 渡邊 俊 親ウナギの産卵回遊生態
- 15:49~ Michael J. Miller レプトは何を食べるのか?
- 16:01~ 田中雅宏 企画展「うなぎプラネット」のこと
- 16:13~ 塚本勝巳 出前授業「うなぎキャラバン」のこと

16:25~ 休憩

総合討論 16:40~ 荻野瑠衣

ご挨拶 17:30~ 朝比奈 潔

懇親会 (会費 一般2000円、学生1000円)



輝 絵 藤沢市立大庭小学校 宮内大輝さん



お問い合わせ先: 海洋生物資源科学科 ウナギ学研究室
電話・ファクシミリ: 0466-84-3683
E-mail: eel.science.lab@gmail.com

アクセスマップ
日本大学 生物資源科学部
〒252-0880
神奈川県藤沢市亀井野 1866
交通案内
小田急江ノ島線六会日大駅前より
徒歩5分

